

わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

第42回 参加し、体験してたのしい一日を!!

おぎくぼセンター祭

期日：11月15日(日) 時間：10:00～16:00

会場：荻窪地域区民センター



舞台

- 和太鼓
- 日本舞踊
- フラダンス
- 子ども落語
- ピアノ演奏
- 出前講座
- カントリーミュージック 他

体験・展示

- アニメづくり体験
- シニアの体力測定
- 茶道
- 似顔絵
- 缶バッジ 他

*体力測定に参加される方は上履きをご持参ください。

模擬店・物販

- 杉並産新鮮野菜
- ポップコーン
- わた菓子
- ドーナツ
- 串団子(パック詰)
- 飲み物
- 苗木無料配布 他



お願い

★検温 ★マスク着用 ★手指の消毒 ★ソーシャルディスタンス ★お名前・連絡先の記入
★換気などを徹底して、楽しみましょう!! よろしくお祈りします!

※掲載内容は変更する場合があります。

これからのスケジュール

10月

- 9月5日(土)～11月8日(日) パネル展示
- 「荻窪の記憶Ⅲ 南荻窪・宮前100年の歴史」
- 8日(土) 15日(土) 22日(土) 29日(土)
- 「いきいき朗読教室」
- 16日(日)
- 「荻窪のネパール人学校と多文化共生」
- 17日(土) 「地域懇談会」
- 19日(日)
- 「日本フィル弦楽四重奏団出張コンサート」
- 22日(木) 「こみゆに亭カフェ」
- 24日(土)
- 「多肉植物のデザートプレート風寄せ植え」

11月

- 15日(日) 「おぎくぼセンター祭」
- 24日(火) 広報紙「わたしのおぎくぼ」
- No.348 12月・1月号発行
- 27日(金) 12月4日(日) 11日(日)
- 「背骨を整えよう! 腰痛スッキリ体操」
- 28日(土) 「近年の地震災害に学ぶ」
- 29日(日) 「秋を楽しむ木の木工教室」

12月

- 6日(日) 「防災フォーラム」
- (会場：西荻地域区民センター)
- 13日(日) 「おぎくぼ寄席」
- 16日(水) 「2021年政局をよつ」

令和3年1月・2月

- 1月17日(日) 「さいえんす緑日」
- 1月26日(火) 広報紙「わたしのおぎくぼ」
- No.349 2月・3月号発行
- 2月2日(日) 9日(土) 16日(土) 23日(土)
- 「リズム&ストレッチ」
- 2月13日(日) 14日(日) アート展

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て、会場は荻窪地域区民センターです。
※問い合わせ先 ● 事業企画部 ● 地域交流部 ● 広報部 ● 総務部



エコスクールであることを実践する 杉並区立荻窪小学校



このシリーズの第3回は、荻窪小学校の西脇裕高校長先生からお話を伺いました。

★概要

荻窪小学校（以下「荻小」）は、1951年の創立、来年には70周年を迎えます。この間、2009年に場所を移転して広々とした校庭となり（敷地面積1.1ha）、校舎はエコロジーに配慮した先端的設計です。在籍する児童数は706名（2020年6月1日現在）、23学級からなっています。近隣には杉並区立宮前中学校があり、この辺りは学園地域ともなっています。コロナウイルス感染症拡大のなか、3月には休業、新学期が再開されたのは6月に入ってから（通常の登校下校は15日になってから）のことでした。学期末に近い大変ご多忙のなか、取材を受けてくださいました。

★学校の特徴

荻小の特徴は、校舎・施設のみならず教育面にも環境課題を取り入れており、名実ともに「エコスクール」であることです。杉並区では2006年ごろから「エコスクール」の推進事業が進められてきましたが、荻小の場合、学校の移転（跡地は大宮前体育館へ）と校舎新築に合わせ、環境配慮型の校舎新築（地下部分に備えたクールヒートトレンチなどは有名）と運営方式、加えて教育面で施設を利用した環境教育が進められてきたことがあげられます。荻小独自の環境学習プログラム（低学年では「荻小の自然探検」、中学年では「日なたと日陰」、高学年では「荻小のエコ探検」など）が実施されてきました。環境教育は児童だけでなく学校を拠点として家庭や地域の人々の協力も得て行われ、「学校支援本部」の支援も重要です。また、荻小はコミュニティスクールでもあります。



エコ校舎を学ぶ「エコツアー」



荻小のエコマップ

★具体的な重点目標

荻小には4つの教育活動の重点キーワードがあります。「心を育てる」では人間尊重を、「一人一人を大切に」では全学級での特別

支援教育の充実を、「つながりを活かす」では小中一貫、幼保小連携、学校間交流を、「広い目を育てる」ではエコロジーマインドを育て持続可能な社会の実現をめざすことをあげています。平成30年度・令和元年度には「社会的事象に目を向け、自分なりの疑問や考えをもち、進んで解決しようとする児童の育成」という研究課題を掲げ研究指定校となり、全校で取り組みをしてきました。この学習経験もあって、コロナ禍にあっても子どもたちに自律心が備わってきているように見受けられると伺いました。



マスク着用での話し合い活動



学び合う子どもたち

★西脇校長の思い・具体的計画

コロナ禍による学校休業の後、子どもたちが6月上旬からの学校再開を喜びと同時に、学ぶ機会を求めている様子を見て、これまで取り組んできた、子どもたち自身が「問い」をもち、クラスメートと「話し合い」、学びを「振り返る」という教育の方向性の正しさと学校が「学び合う場」であることの重要性を実感されたそうです。また具体的に計画していることは「特色ある学校づくり」にもあげている小学校を起点とした「地域連携の再構築」で、環境教育に育まれた子どもたちに加えて保護者・地域住民を巻き込んだ、地域資源を見つめなおすエコツアー、来年の開校70周年に向けて荻小を知ってもらうための「荻小メモリアルフロア」の整備をあげられていました。

杉並区立荻窪小学校

住所:168-0081 東京都杉並区宮前2-13-18 電話:03-3333-6628
ホームページ:www.suginami-school.ed.jp/ogikuboshou/

講座紹介

荻窪のネパール人学校と多文化共生



世界で初めて荻窪に開校したネパール人学校「エベレスト・インターナショナル・スクール・ジャパン（EISJ）」の顧問理事（前理事長）シュレスタ・ブパール・マン博士をお招きして、EISJのこと、在日ネパール人のこと、多文化共生のあり方について講演をしていただきます。



シュレスタ博士

★日時:10月16日(金)午後1時半～3時 ★定員:30名

★講師:シュレスタ・ブパール・マン博士 ★会場:荻窪地域区民センター第1・2集会室

※受講を希望する方は、P4の「講座などのご案内」をご覧ください。

パンツおじさんの諜報活動

「神明中学へ通学の朝、須磨弥吉郎が自宅前でパンツ一枚で血色のいい裸で、長刀を振っていました」。

こんな思い出を、「荻窪の記憶Ⅲ」展を見た知人がメールで送ってくれました。須磨については、昭和39年（1964年）5月8日の東京新聞も「ハダカ通す外交官」との見出しをつけ、荻窪に住む著名人の一人として紹介しています。

「須磨は近所の子もたちには『ハリキリ・パンツのおじさん』というニック・ネームで呼ばれている。（略）外交官生活で送ったワシントン、ロンドン、マドリッド、北京でも、ハダカ姿で通した。エチケットの国、英国では、さすが、往来を歩くわけにはいかないの、森のなかには歩いて散歩したこともある」

しかし、須磨が外交官としてユニークだったのは「ハダカ」だけではありません。スペインを舞台にした小説で知られる作家・逢坂剛は、「須磨公使は、当時の日本人外交官としては型破りの人物で、大胆な言動から周囲の毀誉褒貶が激しく、その評価にはプラスマイナスの振幅がある」と書いています。いったい、何が「型破り」だったのでしょうか。

舞台は、第二次大戦下のスペイン。当時、スペインは中立国だったので、連合国や枢軸国のスパイが情報収集のために暗躍していました。そんななか、情報の価値を重視していた須磨は、公使としてスペインに赴任すると、スペイン人のスパイを使って英米の情報を集め、日本に送っていたのです。スパイの名はベラスコ。「ドイツのスパイを務めながら、須磨公



須磨弥吉郎(国会図書館蔵)

1892年 秋田県生まれ
1919年 外務省入省
1924年 現在の南荻窪に居を構える
1934年 南京総領事
1939年 外務省情報部長
1941年 駐スペイン特命全権公使
1946年 A級戦犯容疑で逮捕
1953年～58年 衆議院議員
1970年 死去

使のためにも情報活動を行なった。公使は、ベラスコの情報を〈東情報〉と呼んでいた。〈東〉は〈とう〉と読み、最初は〈盗〉の字を当てるはずだったが、あまりに露骨なので〈東〉にした、と伝えられる」。その情報はアメリカ太平洋艦隊の動きから原爆開発にまでおよんでいましたが、日本政府や軍部に活用されることはなく、暗号はアメリカにすべて解読されていました。

敗戦後、須磨は「中立国の駐在外交官としてはただ一人、A級戦犯指定を受け」ますが、彼を「訴追しようとするれば、アメリカは日本の暗号を解読していた事実を、公表しなければならず、不起訴処分になっています。戦後の須磨は国会議員を二期つとめたほか、美術収集家としても知られ、スペイン駐在中に集めた美術品を「須磨コレクション」として長崎県立美術館に寄贈しています。

※逢坂剛の文章は『さらばスペインの日々』（講談社文庫）からの引用です。

「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男

音楽へのお誘い

日本フィル弦楽四重奏団出張コンサート



出張コンサート演奏風景

荻窪ともご縁の深い日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーが、荻窪地域区民センターに来て弦楽四重奏を演奏して下さいます。曲目：アイネ・クライネ・ナハトムジークより、日本の四季メドレー、その他の予定です。

★日時：10月19日(月)午後3時～3時45分 ★定員：20名

★参加費：無料

往復はがきで申込みください(締切10月4日)。多数の場合抽選となりますが追ってご連絡します。

★会場：荻窪地域区民センター

※受講を希望する方は、P4の「講座などのご案内」をご覧ください。

講座紹介

多肉植物のデザートプレート風寄せ植え

多肉植物を用いたデザートプレート風寄せ植えを作成します。水やり、増やし方など長く楽しむポイントもレクチャーいたします。

★日時：10月24日(土)午後1時半～3時 ★定員：12名(抽選)

★講師：吉野華恵(グリーンアドバイザー、一級造園施工管理士)

★参加費：1,700円(材料費込) ★会場：荻窪地域区民センター

持ち物：エプロン、使い捨てビニール手袋、筆記用具、ハサミ、手提げ袋(作品持ち帰り用)、メガネ(必要な方)など。

※受講を希望する方は、P4の「講座などのご案内」をご覧ください。



写真はイメージ

講座などのご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
パネル展 「荻窪の記憶Ⅲ 南荻窪・宮前100年の歴史」	パネル展「荻窪の記憶」第3弾は、昭和初期に郊外住宅として発展した南荻窪と武蔵野の新田開発を担った宮前地区の歴史を取り上げます。この地区ゆかりの文学者や、文化人、政治家など28人も紹介。	9月5日(土)～11月8日(日) ロビー展示/荻窪地域区民センターの 開館時間	—	無料	—
荻窪のネパール人学校と 多文化共生	世界で初めて荻窪に開校したネパール人学校「エベレスト・インターナショナル・スクール・ジャパン(EISJ)」の顧問理事(前理事長)が在日ネパール人と多文化共生について講演します。※詳細はP2参照 シュレスタ・ブパール・マン博士	10月16日(金) 午後1時30分～3時	30名	200円	10月4日(日)
日本フィル弦楽四重奏団 出張コンサート	日本フィルハーモニー交響楽団 弦楽四重奏団による出張コンサート。曲目:アイネ・クライネ・ナハトムジークより、日本の四季メドレー、その他。※詳細はP3参照	10月19日(月) 午後3時～3時45分	20名	無料	10月4日(日)
多肉植物の デザートプレート風 寄せ植え	多肉植物のデザートプレート風寄せ植えの作成。その他、水やり・増やし方など長く楽しむポイントもレクチャーいたします。※詳細はP3参照 吉野華恵(グリーンアドバイザー・一級造園施工管理士)	10月24日(土) 午後1時30分～3時	12名	1,700円 (材料費込)	10月11日(日)
背骨を整えよう! 腰痛スッキリ体操	腰や肩の痛みを取り除くために、ご自分で安全に楽しくできる体操です。 高橋寛史(背骨コンディショニング協会講師)	11月27日・12月4日・11日 各金曜日(3回) 午前9時30分～11時30分	20名	200円	11月8日(日)
近年の地震災害に学ぶ	地震列島に住む私達の知っておくべき、様々な地震災害、津波、液状化現象、山体崩壊などについて、多くの実例を示しながら解説します。 伊藤和明(元NHK解説委員、現防災情報機構会長)	11月28日(土) 午後1時30分～3時	30名	200円	11月15日(日)
秋を楽しむ 木の実工作教室	秋の木の葉・木の実・木の枝・藁などを使って、工夫してリース・ブローチ・ドア飾りなどいろいろなものを作ります。 山室京子(環境カウンセラー)	11月29日(日) 午後1時～3時	12名	200円	11月8日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに〈一人一枚〉 ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ
〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

Withコロナ時代の協議会活動

荻窪地域区民センター協議会会長 檜枝光太郎

2020年度は新型コロナウイルス感染症のため、異例の年度となりました。

新型コロナウイルス感染症の先行きはまだまだ不透明です。新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」が求められる「Withコロナ時代」がしばらく続くかと覚悟しています。当面、感染防止対策をいろいろ工夫しながら、協議会活動を続けることが大切と思っています。もろもろのガイドライン等を遵守して三密を避け、無理のない範囲で協議会活動を続け、地域の皆さまのお役に立ちたいと思っています。

地域の皆さまとの懇談の場である地域懇談会は10月17日に開催し、皆さまのご意見を伺います。10月22日には気楽に立ち寄れる「こみゅに亭カフェ」を開き、地域についての話し合いをします。延期されていたおぎくぼセンター祭は11月15日の1日に短縮して開催します。さらに、防災フォーラム(12/6、会場は西荻地域区民センター)、さいえんす緑日(2021/1/17)、アート展(2/13・14)も開催を予定していますので、是非ご参加ください。本天沼集会所まつりは例年10月の日曜日に開催していましたが、大変残念ですが本年度は開催を断念しました。

以下は本年度前半の報告です。4月から8月まで、すべての企画を中止あるいは延期としました。活動の拠点である区民センターが3月9日から5月27日まで休館となり、その期間は集会形式の協議会活動はすべて中止せざるを得ませんでした。協議会活動の前提となる定期総会は5月8日に予定していましたが集会形式の開催を中止し、書面による議決を取る方式(書面表決)に変更しました。6月5日から区民センターの部屋の貸出が再開されましたので、三密を避けながら委員活動を再開しました。9月からは講座等も再開しました。

隔月発行の広報紙「わたしのおぎくぼ」は区民センター閉館中も予定通り発行できました。また、ホームページを活用して企画の中止や延期などを迅速に情報発信できたことは特筆に値するでしょう。今後の講座・イベント等については「わたしのおぎくぼ」あるいはホームページでご確認ください。

郷土博物館分館

問い合わせ: ☎5347-9801

2階展示室

「絵葉書から見る杉並」

お土産や記念品として、また、かつては最新のニュースを伝えるメディアとして、さまざまな役割を担ってきた絵葉書。そのモチーフは風景や人物にはじまり、学校の校舎や運動会のような、区役所やデパート、さらには事件や災害など、バラエティに富んでいます。

本展ではこうした絵葉書が時代の移り変わりのなかで担ってきた役割を紹介するとともに、杉並に関連する絵葉書をとおして、かつての杉並の姿を紹介します。

【開催期間】令和2年10月31日(土)～12月27日(日)

- 場 所: 杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1天沼弁天池公園内)
- 開館時間: 午前9時～午後5時
- 休 館 日: 毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
- 観 覧 料: 無料

*「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。 FAX番号: 3398-9128

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため ご協力をお願いします!

- 手洗い・手指消毒 ●マスクの着用
- 体調不良時の外出自粛
- ソーシャルディスタンスの確保
(できるだけ2メートル)
- 「3つの密(密閉空間・密集場所・密接場面)」を避けた行動



荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の 日程

10月27日(火) 午後1時～ 会場: 第1・2集会室
11月24日(火) 午後1時～ 会場: 第1・2集会室
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。